

科 目 名	教職概論				
配 当 学 年	1 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	宮嶋 衛次		単位認定責任者	宮嶋 衛次	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	学校現場での経験をもとに実践的な内容を含めて講義を行う。				
授業科目の概要	学校教育や教職（教師の立場・責務及び役割）の資質能力と職務内容を説明し、グループワークを取り入れ、教育の動向を深く踏まえて、求められる教員の資質能力を理解する。 今日の学校教育や教職の社会的意義を学び、多忙化する教員の役割を学校内外でチームとして組織的に対応する考え方まで俯瞰した学修を行う。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>「教師」とは、どのような職業であるのかを理解し説明できる。</li> <li>資質能力を兼ね備えた教師として、教科専門力と生徒指導力を理解し身につけることができる。</li> <li>学校教育は組織で動くところであることを理解し、チームとしてコミュニケーションすることができる。</li> <li>今日的学校課題（いじめ、ICT活用など）について理解し、課題を解決する方策を述べることができる。</li> <li>様々な発表の機会により、プレゼンテーションスキルとコミュニケーションスキルを身に付けることができる</li> </ol>				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	15 %	定期試験、小テスト		
	専門知識	25 %	定期試験、小テスト、レポート、プレゼンテーション		
	倫理観	10 %	定期試験		
	主体性	15 %	レポート、プレゼンテーション、取組状況		
	論理性	5 %	レポート		
	国際感覚	0 %			
	協調性	5 %	プレゼンテーション		
	創造力	15 %	定期試験、レポート、プレゼンテーション		
責任感	10 %	定期試験、取組状況			
授業の展開					
1.	オリエンテーション～「教師への道」と学校教育（公教育の目的、教員）の意義				
2.	教職の社会的意義（教職の職業的特徴）				
3.	学校教育の目的（教職観の変遷といま求められる教員の役割）				
4.	教員の意義と使命（教員の基礎的な資質能力）				
5.	教員の仕事（1）学級経営				
6.	教員の仕事（2）学習指導				
7.	教員の仕事（3）生徒指導・進路指導				
8.	教員の仕事（4）特別活動・職務の全体像				
9.	教員の勤務と職務（1）採用と任命				
10.	教員の勤務と職務（2）教育公務員の服務義務				
11.	教員の勤務と職務（3）身分上の義務及び身分保障				
12.	教員の研究と修養（1）教員研修の意義と学び続ける義務				
13.	教員の研究と修養（2）教員の指導力向上と課題解決				

14.	学校内外との連携（チーム学校、コミュニティ・スクール）				
15.	教師の資質能力を活かした学校改革と教職関連本のブックトーク				
授 業 外 学 修 に つ い て	<授業外学修> ・授業理解のための予習課題を提示するので事前に調べておくこと ・復習として、授業プリント下部のふり返し・感想を記入すること ・授業内容に係る小テストを数回実施するので復習しておくこと ・教育課題を提示するので、レポートにまとめたりプレゼンテーション資料を作成すること ・教職に関する本を1冊読むこと。冬期休業明けにレポート提出とプレゼンテーションを行う。				
教 科 書	・「教職入門（教師への道）」（藤本典裕 編著） ・中学校・高等学校学習指導要領				
参 考 文 献	・必要に応じて、授業時に適宜指示する				
試 験 等 の 実 施	定期試験	その他の テスト	課題・ レポート	発表・プレゼンテ ーション	取組状況等
	○	○	○	○	○
成 績 評 価 の 割 合	40 %	10 %	20 %	20 %	10 %
成 績 評 価 の 基 準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試 験 等 の 実 施、成 績 評 価 の 基 準 に 関 す る 補 足 事 項	<b>【定期試験】</b> 講義内容について、定期試験を行う。教科書等の持ち込みは不可。 <b>【小テスト】</b> 教育法規の内容につて、3回小テストを実施する。 <b>【レポート】</b> 生徒指導にかかわる場面指導について、原因や対応策をグループでまとめ、レポートを提出する。また、冬季休業明けまでに教職に関する本を一冊読み、内容と感想のレポートを提出する。 <b>【プレゼンテーション】</b> 生徒指導にかかわる場面指導について、グループでプレゼンテーションを行う。 また、冬季休業明けにブックトークを行う。 <b>【取組状況】</b> 課題の提出やふり返しと感想の記入、講義中に行う発問やグループ協議等への取組状況について、主体性と責任感を評価する。 1年次に教職概論の単位を修得することが2年次以降の教職科目を履修する要件になる。				

（教職概論）